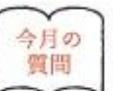


バックナンバーは
メディアサイトで



おばけが恐いけど好き:という娘。
可愛いおばけの話があれば知りたいです。

(2才女の子のママ)

10月はハロウインもあり、
おばけの絵本を選ぶ機会

も出てきそうですね。

私たちのお話し会で活

躍しているのが、「ばけば

けばけばけ ばけたくん」

(*1) 誰かのお家でつま
み食いをする、おばけのば
けたくん。べろべろキャン
ディーを食べたらうずまき
に、いちごを食べたら真っ

ぴったりが見つかる 親子の絵本時間

picture books



(*1)
岩田明子/文・絵
大日本図書



(*2)
おおいじゅんこ/作・絵
教育画舎



(*3)
大森裕子/作
白泉社

ちょっぴり不気味で
ユーモラス



パンプキンパイを作りたい魔女ですが、かぼちゃがなかなか抜けません。そこに、ゴーストや吸血鬼などがやってきて…。「おおきなかぶと同じだ!」と気づいた子どもに大ウケのコミカルな一冊。

たくさん
お菓子にわくわく



『トリックオアトリート!』

岡村志満子/作
くもん出版

とっておきの仮装で近所の家を回る子どもたち。どんなお家で、どんなお菓子がもらえるかな?シンプルな線り返し遊びが楽しく、蓄光インクを使った光るページも!

ハロウィンの
おやつの
参考にも



赤ちゃんから楽しめる



『ハロウィンのかくれんぼ』
いしかわこうじ/作
ボプラ社

かくれんぼしているものを当てっこして遊ぶ、「かたぬきえほん」シリーズの一作。ハロウインにまつわるもののが原色で描かれ、赤ちゃんから楽しめます。英語表記もあり。

ハロウイン の お話

日本でもすっかり定着したハロウイン。仮装をしたり、かぼちゃのおやつを食べたり…子どもと一緒に、絵本でハロウイン気分を味わってみては?

由来を
知りたいなら



『ゆめちゃんのハロウイン』

高林麻里/作
講談社

アメリカで暮らしたことのある著者が、自身の経験を元にしたお話。海外のお友達がハロウインを楽しむ様子がよく理解でき、あとがきには由来の説明もされています。

『ぐりとぐらとすみれちゃん』

なかがわりえこ/作
やまわきゆりこ/絵
福音館書店

ぐりとぐらシリーズに新しいお友だち、すみれちゃんが加わった、かぼちゃのお話。かぼちゃのべたべたやき、プリン、おせんべい…と、おいしそうなお料理がたくさん登場します。

10月はハロウインもあり、おばけの絵本を選ぶ機会も出できそうですね。私たちのお話し会で活躍しているのが、「ばけばけばけばけ ばけたくん」(*1)。誰かのお家でつまみ食いをする、おばけのばけたくん。べろべろキャンディーを食べたらうずまきに、いちごを食べたら真っ

赤に、どんどん変身していきます。シユワシユワのメロンソーダやねばねばの納豆では: ? シンブルながらユーモアたっぷりで、リズミカルな言葉も楽しですよ。シリーズもたくさん出ています。

「どろんじゅうやまのぶよんおばけ」(*2)は、おばけの一家のお話。6人

きょうだいの1人、飛ぶ練習を忘げた「おばゆーくん」のピンチを、意外な方法で解決します。ほのほした可愛らしい絵柄も魅力です。

遊びながら読むなら、「へんなおばけ」(*3)もおすすめ。白い布を被つておばけになる、色々な動物たち。最後に出てきた本物のおばけは: 。うちでもぜひおばけごっこをしてみてくださいね。

遊びながら読むなら、「へんなおばけ」(*3)もおすすめ。

答えてくれたのは

絵本と図鑑の販売ライブラリー ピブリオキッズ 司書の安藤さん